

带状疱疹ワクチン接種への助成並びに定期接種化を求める意見書について

带状疱疹ワクチン接種への助成並びに定期接種化を求めることに関して、別紙のとおり意見書案を提出する。

令和4年12月15日

旭川市議会
議長 中川明雄様

提出者 旭川市議会議員

中野ひろゆき

高花えいこ

もんま 節子

中村のりゆき

室井安雄

带状疱疹ワクチン接種への助成並びに定期接種化を求める意見書

带状疱疹は、過去に水痘に罹患した者が、加齢や過労、ストレスなどによる免疫力の低下により、体内に潜伏する水痘带状疱疹ウイルスが再び活性化し発症するものである。

日本人では、50歳代から発症率が高くなり、80歳までには約3人に1人が発症すると言われており、治療が長引くケースがある。

また、後遺症として、带状疱疹による神経の損傷によって、その後も痛みが続く「带状疱疹後神経痛」と呼ばれる合併症のほか、角膜炎、顔面神経麻痺、難聴などを引き起こし、目や耳に障害が残ることもあるとも言われている。

この带状疱疹の発症予防のために、ワクチンが有効とされているが、費用が高額になることから接種を諦める高齢者も少なくない。

よって、政府においては、一定の年齢以上の国民に対する带状疱疹ワクチンの有効性等を早急に確認し、带状疱疹ワクチン接種への助成制度の創設や予防接種法に基づく定期接種化を実現するよう強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

旭 川 市 議 会